

### 【ききもべつ】夏まつり

毎年8月中旬に行われ、お盆で帰省した人たちが仲間入りします。企画から運営まで町民有志によって行われ、ユニークなイベントが目白押し。例えば「やまべのつかみどり」では、子供たちも必死になつてピチピチはねるヤマベを追いかけます。また、花火大会や仮装盆踊りなどもあつて誰もが楽しめる内容に。夏を楽しむ目玉といえそうです。

### 【クレードル興農】



喜茂別町の特産ホワイトアスパラガスを缶詰にしたアスパラ缶詰を昭和7年から製造開

始。発祥の地、ゆりかごを意味するクレードルの名前は、優れた缶詰の代名詞として世界各国で愛されるようになりました。現在はホワイトアスパラガスの他、スイートコーンやかぼちゃ、じゃがいもの加工も行っています。ゆっくりと歴史を刻んできた赤レンガ工場には、先人たちの夢がたくさんつまっているようです。

### 【ろ】

### 【尻別川】

幹川流路延長12.6km。羊蹄山、ニセコアンヌプリの山すそを流れ、蘭越町から日本海に注いでいます。溪流釣りのメッカとして、また清流日本一として有名で、清流にしか生息しないヤマベ、ニジマス、イトウを求めて訪れる釣りファンは全国各地から。釣り愛好家のグループ「竿好会」は資源を保護するため稚魚を年数回放流している

他、河川愛護運動も積極的に行動しており、喜茂別町も公共下水道の整備を進めるなど、流域7町村全体で尻別川の河川環境整備に力を入れています。

### 【尻別岳】

アイヌ語でピンネシリ(男山)といひ、前方羊蹄とも呼ばれます。羊蹄山の南東に位置する標高1,107mの山で頂上まで1時間半位です。昭和45年8月より毎年山開きを兼ねた町民登山を実施しています。また、野鳥観察などでも親しまれており、頂上は平地で一周約500mの散策コースもあります。



### 【た】

### 【彫刻作品】

中山峠森の美術館の館内・周辺に設置された5つの彫刻作品は、著名な彫刻家によって制作されています。館内だけが美術館ではなく、彫刻作品や中山峠の大自然も含めた全てが美術館であり、芸術なのです。

### 【特産品加工グループ】



地場農産物を加工利用できないかとの発想から、平成9年に町内の女性有志20名で結成し活動をスタート。平成11年には「きらめき工房」を設置し、安全・安心健康にこだわった手づくり味噌「きらめきみそ」の販売を始めました。きらめきみそは、町内はもとより町外か

らの注文も多く、新たに町の特産品の一つに加わりました。

### 【特産物直売センター】

町民公園の入口にあり駐車場も完備。町民公園を訪れた方の休憩場所として利用されているほか、パークゴルフ場の受付も行っています。また、レストラン「鴨鍋」を味わうことができ、やわらかくておいしい鴨肉にファンも多いようです。(夏季のみ営業)



### 【な】

### 【中山湿原】

第一湿原から第三湿原で構成される8.5haの湿原群で、喜茂別岳の東方標高850mに位置します。エゾリンドウやアイヌキノオサムシなど多く

の植物・昆虫が存在します。中山湿原は、日本では唯一のプランケット型湿原であるといわれています。

### 【中山峠】

標高831m、札幌と洞爺道南方面を結ぶ国道230号のほぼ中央に位置し、年間380万人以上の観光客が訪れます。蝦夷富士こと羊蹄山を一望する絶好のビューポイントとしても知られ、遠くにはニセコ連峰のダイナミックな姿を望むことができます。物産館や駐車場、トイレなど各種施設も整う、一息ついてみたくなる旅の拠点です。中山峠の雄大な風景に、感動をおぼえる旅人も少なくないようです。

